

## 令和4年度公開研究会をとおして

校長 渡部 透

夏の暑さは遠くなり、秋の訪れを感じる頃となりました。

第何波になるのか分からなくなってきましたが、この夏、爆発的に増加した新型コロナウイルス感染症の感染者数も、ようやく減少してきているようです。とは言え、なかなか収束には至らないことに、無然たる思いです。

さて、本校では9月22日に公開研究会を開催しました。「児童生徒が自分で考えもっと学びたくなる授業づくり～学びの過程、内面の育ちに着眼した授業研究～」という主題を掲げ、2年間の研究に取り組んできました。公開研究会では小学部は遊びの指導（「なかよしランド」であそぼう！～おおかみからかくれよう～②）、中学部は生活単元学習（「LET'S GO!中1～もっと知りたい、追分地区～」）、高等部では生活単元学習（「地域発信情報局 ファイナルステージ 目指せ！秋田マイスター ～調査・発信編～」）の授業を提示しました。他校等から参加された方は16名ほどでしたが、グループ協議（ワークショップ）では、授業についてたくさんの意見や感想をいただきました。今年度、本校では授業研究会を4回実施し、グループ協議で児童生徒の様子、手立て、環境設定、支援方法等について意見交換を重ねてきました。笑い声のあるグループ協議での様子を見るたび、授業について、子どもたちについて話し合うこと、語り合うことは、教師個人の専門性を高めるだけでなく、チームとしての力も高めてくれる大切な機会と感じます。「主体的・対話的で深い学び」は子どもたちだけでなく、私たち教職員にとっても大切なことであると思います。授業研究会は、教師が主体的に対話し、学びを深める時間です。公開研究会に参加された先生方にとっても有意義な時間、有益な協議となったのであれば幸いです。

天王みどり学園は、9月30日が1学期の終業式で、2学期は10月4日から始まります。2学期に入るとすぐに学園祭（10月15日）があります。ステージ発表の練習にもだんだんと熱が入ってきています。今年度も新型コロナウイルス感染症のため参観は保護者の皆様に限られますが、これまでの学習と練習の成果を発揮し、すばらしい学園祭になるものと期待しています。